

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

ハッピーマンデー制度により「敬老の日」が9月の第3月曜日に変わったのが平成13年度の法改正からで20余年もたつのに、いまだ9

月15日が「敬老の日」だと思ってしまう。カレンダーを見ると9月15日は「老人の日」の記載だ。敬老の日が祝いであるのに対して、老人の日は、「老人福祉への理解や関心を高める事」「社会を生きる人々が協力して助け合い、老人が自ら生活の向上を務める事」と老人福祉法によって定められているが、どちらも大切な日だ。

高齢者もコロナ禍で行動を制限された期間が長期化している。生活の向上に有効な行動時間を確保するためにも感染防止対策を徹底し、早急に取り組む施策が展開されるよう望みたい。

東奥日報のコラム天地人さんにあった人生の歩み方の記載が心に残る。人生100年時代だが、民話の世界では、人間の寿命は25年だった。司馬遼太郎のエッセーにある。馬・犬・猿は100年与えられていた。が、馬は「人間に100年も働かされたくない」、犬は「100年も吠え続けるのは、やりきれない」、猿は「100年も人間に見られ続けるのは退屈だまらないう」と訴え、神様は25年ず

つ人間に分け与えることを許した。民話では、人間の時期は25歳まで。26歳から50歳は馬だ。馬車馬のように例えられる通り、働き盛りの年代である。51歳から75歳までは犬。保守的な年代の後半の10月。国などの制度変更や商品の価格改定が相次ぐ。国が輸入した小麦を製粉会社などに売るとき、価格も19%引き上げで、年末年始にかけて商品価格にも反映される見通しだ。地域別最低賃金の引き上げなど家計にとってプラス材料もあるが、全体としては負担が増える家

庭が多くなる。今年に入ってからガソリン価格の高騰が続き、冬期間の灯油価格が心配になる。生活困窮世帯への対策を強く望みたい。

(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)

策が展開されるよう望みたい。

東奥日報のコラム天

民話では、人間の時期は25歳まで。26歳から50歳は馬だ。馬車馬のように例えられる通り、働き盛りの年代である。51歳から75歳までは犬。保守的な

年度の後半の10月。国などの制度変更や商品の価格改定が相次ぐ。国が輸入した小麦を製粉会社などに売るとき、価格も19%引き上げで、年末年始にかけて商品価格にも反映される見通しだ。地域別最低賃金の引き上げなど家計にとってプラス材料もあるが、全体としては負担が増える家

庭が多くなる。今年に入ってからガソリン価格の高騰が続き、冬期間の灯油価格が心配になる。生活困窮世帯への対策を強く望みたい。

(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)

人生100年時代の社会のあり方が問われている



岩岳地域のナラ枯れ被害が拡大している。地域にあった総合的な被害対策の実施が急務だ。